

「神戸女学院の 100 冊」は、神戸女学院大学の全教員が、専門分野の学びの基礎となる書籍を選び、編み上げたアンソロジーです。3 学部 5 学科の、人文科学、芸術から自然科学にわたる 19 分野に分けられた本たちは、本学でリベラルアーツを学ぶ大学生の道標になるとともに、大学を目指す高校生の知的な好奇心も刺激して、新たな世界への扉を開いてくれる珠玉の一冊ばかりです。

本年度の書評コンテストでは、大学生部門、高校生部門をあわせて 74 作品の応募がありました。どの作品も選んだ一冊と真摯に向かい合っており、とても楽しく読むことができました。なかでも優秀作と佳作に選ばれた 9 作品は、作者独自の視点が確立されており、批判的に論を構成している点で、感想文とは違う書評として読み応えのある作品ばかりでした。また、受賞作に共通した特徴として、ポケットの多さも感じられました。これまでの豊富な読書経験を伺わせる複数の論点から多面的な評論を行っており、読み進めるうちに次の展開が楽しみになりました。今回、対象として選んだ本は応募者の好きな分野からの一冊だと思いますが、他の分野へとアンテナを広げることにより、さらに多くのポケットを増やしてもらえたらと思います。

文章表現の面ではまだ改善の余地が認められる箇所もありましたが、豊富な読書体験は文章力も向上させてくれます。是非、残りの 99 冊を読破する意気込みで、これからの大学生活、高校生活を送ってもらえたらと考えています。最後になりましたが、受賞された皆さんに、改めておめでとうの言葉を贈りたいと思います。